



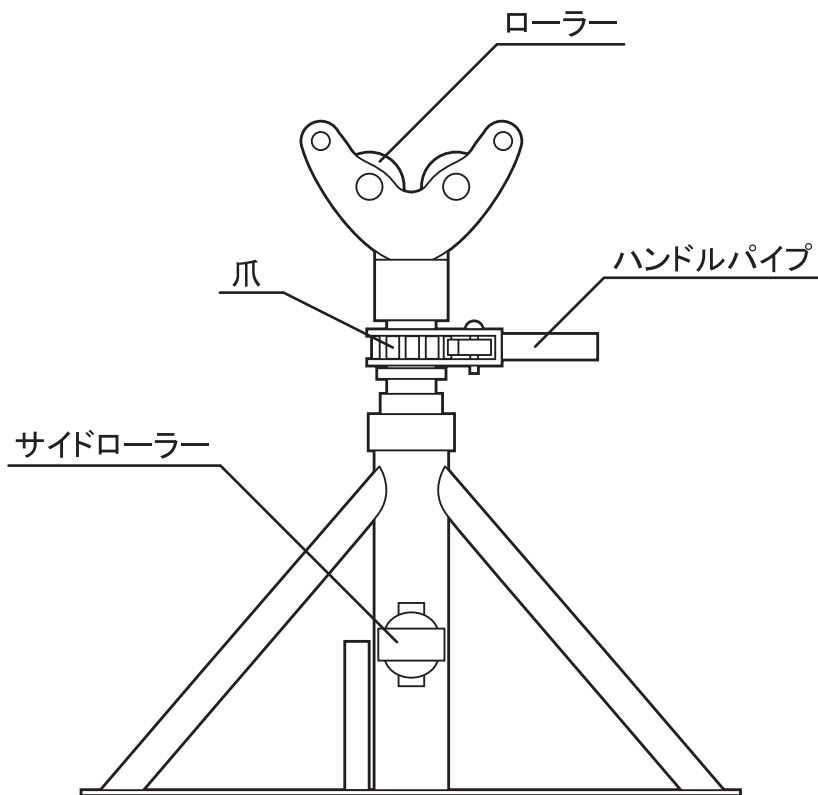
**DENSAN**  
ELECTRICIANS TOOLS

# CJ-680 CJ-1020

## ケーブルジャッキ 取扱説明書

このたびは、ケーブルジャッキをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。  
ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

### 各部名称



**ジェフコム株式会社**

■ 注意文の **⚠警告** **⚠注意** **注** の意味について

弊社では、ご使用上の注意事項は、**⚠警告** **⚠注意** **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告**: 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

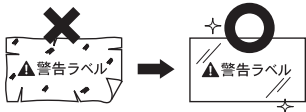
**⚠注意**: 誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注**: 製品及び付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

※注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

# 安全上の注意事項

## 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
  2. 本機貼り付けの警告ラベルについて
    - ラベルの表示が読みにくくなったり、はがれそうになった場合は貼り替えて修復してください。
- 
3. 作業場はいつもきれいに保ってください。ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
  4. 作業場の周囲状況も考慮してください。
    - 作業場は十分に明るくしてください。
    - 引火や爆発の恐れのある物質の近くでの作業は危険ですので、絶対に避けてください。
  5. 子供など、作業者以外近づけないでください。危険です。
  6. 能力以上の負荷は、絶対にかけないでください。けがの原因になります。
  7. 無理のない姿勢で、きちんとした服装で作業を行ってください。
  8. 使用前、必ず部品等が損傷したものがいないか点検してください。部品等が破損したら、純正部品と交換してください。
  9. 使用前、作業部分の位置調整及び、締め付け状態、取り付け状態等、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  10. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## 警告

1. ケーブルドラム用ジャッキです。用途以外に使用しないでください。
2. 能力以上の使用はしないでください。
3. ジャッキがぐらつかないよう、平坦な場所に置いてください。
4. ドラムとジャッキはできるだけ近づけて置いてください。  
シャフトに余計な力がかかります。

## 注意

1. 作業中、ドラムの片寄りに注意してください。片寄ったときには、ジャッキを上下させて調整してください。
2. ドラムは、必要以上に上昇させないでください。

## ■ ジャッキ取扱上の注意事項

### ⚠ 警告

1. ケーブルドラム用ジャッキです。用途以外に使用しないでください。
2. 能力以上の使用はしないでください。

## ■ 仕様

型式	CJ-680	CJ-1020
揚力	29.4kN	29.4kN
高さ	487～688mm	652～1018mm
質量	33kg(2台)	44kg(2台)

★仕様は、改良のためお断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

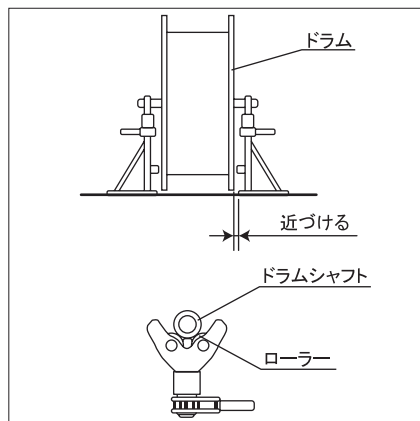
## ■ 設置方法

### ⚠ 警告

1. ジャッキがぐらつかいよう、平坦な場所に置いてください。
2. ドラムとジャッキはできるだけ近づけて置いてください。シャフトに余計な力がかかります。
3. ケーブルシャフトをドラムに通し、ジャッキのローラーにのせてください。
4. シャフトが水平になるように調整してください。

### ⚠ 注意

作業中、ドラムの片寄りに注意してください。片寄ったときには、ジャッキを上下させて調整してください。



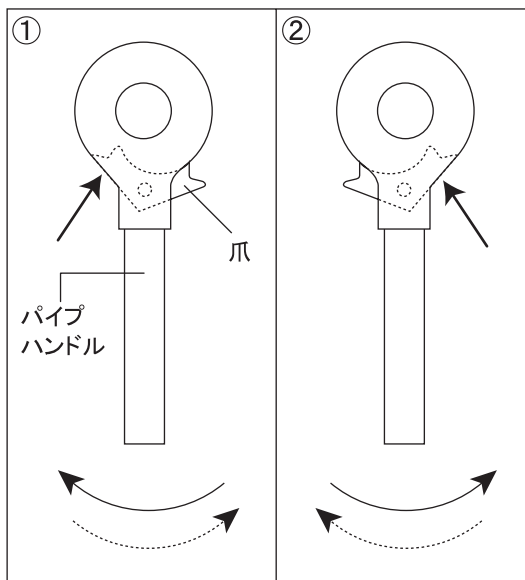
## ■ ジャッキの上昇、下降

1. ジャッキを上昇させるには、爪を①のようにセットし、パイプハンドルを装着し、矢印の方向に往復させてください。左右均等に、少しずつ上昇させてください。

### ⚠ 注意

ドラムは、必要以上に上昇させないでください。

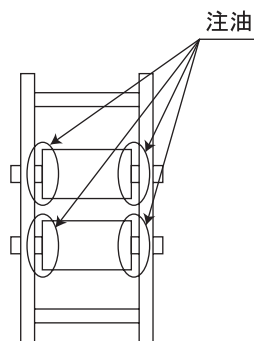
2. ジャッキを下降させるには、爪を②のようにセットし、パイプハンドルを装着し、矢印の方向に往復させてください。



3. ジャッキが下端付近になったときは、最下端まで下降させないように特に注意してください。下端させ過ぎた場合は、シャフトの締め過ぎにより、ジャッキを上昇させるときにパイプハンドルが回らなくなる場合があります。

### ⚠ 注意

- ・ ジャッキの最下端付近での下降作業については特に注意してください。
- ・ 最下端まで下降させ過ぎた場合にはシャフトが締め過ぎて、回らなくなる場合があります。

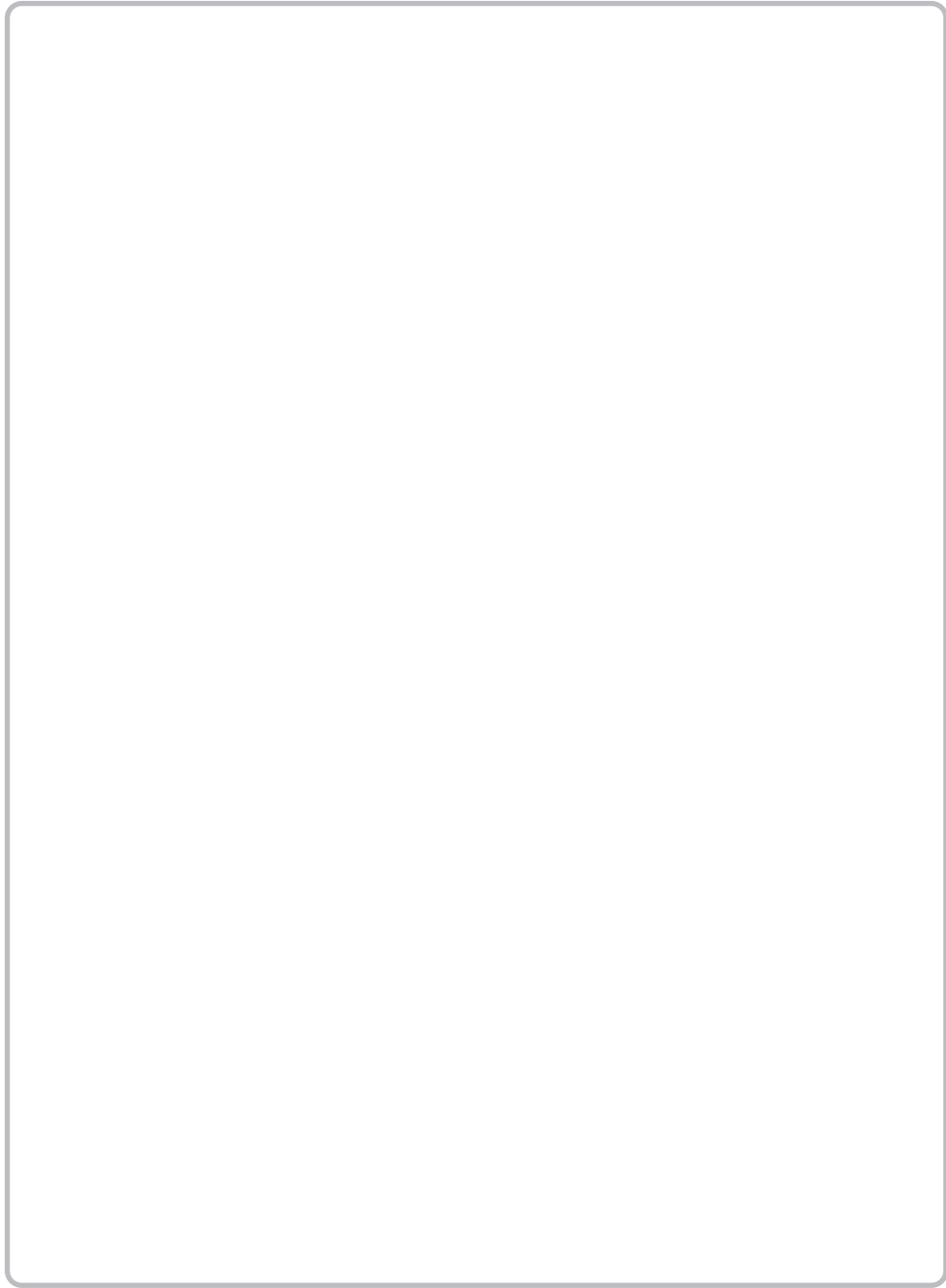


## ■ 保守・点検

1. ネジ棒にキズをつけないよう、注意してください。使用後、グリスをつけてください。
2. ローラーの軸には、マシン油を注油してください。

ジャッキを上方から見た図





**ジェフコム株式会社**

〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16

MADE IN CHINA  
ML1BHD